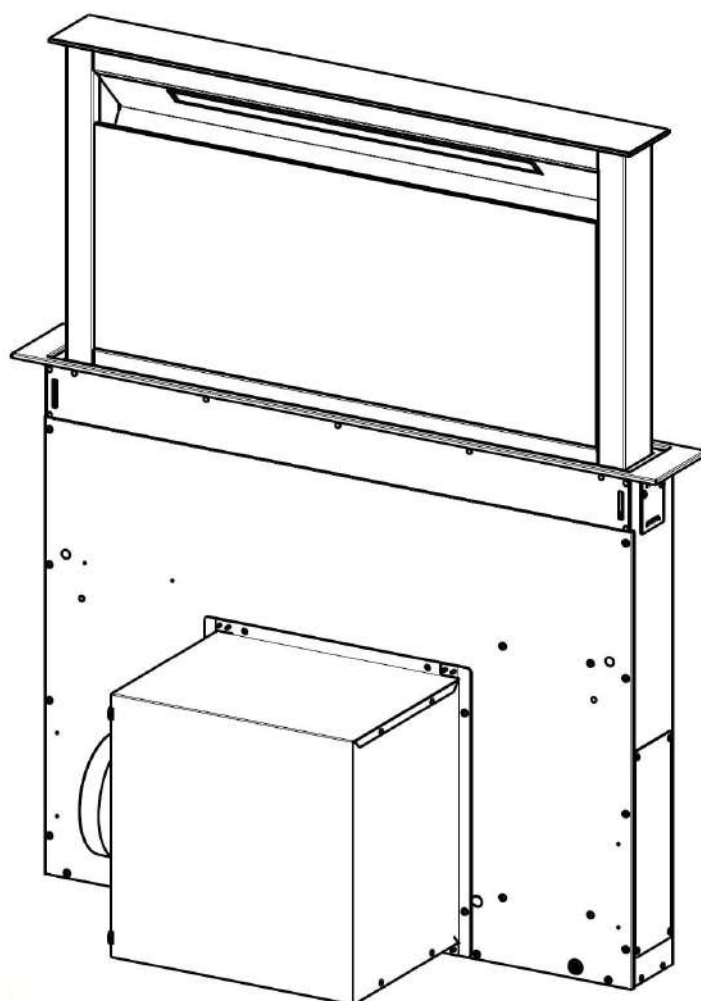


FABER S.p.A製ダウンドラフトフード
シロコルクス

SCIROCCO LUX

施工要領書



Index

・ 施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）	2
・ 部品	3
・ 寸法図	4・5
・ 施工手順	5～9

施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）



フードを設置する前に必ず通電し動作試験、外観検査などを行ってください。設置後に不具合発覚した場合は保障外となることがございます。※仮設電源では正しく動作しないことがございます。

キッチンの設計にあたっては本書を熟読になり、アフターメンテナンス可能な動線の確保（フード本体の取り外しおよびフード各部位へのアクセスが可能な設計）をお願いいたします。

施工は本書の通りに行ってください。本書通りの施工がなされていないことが原因によるあらゆる製品能力の欠乏、故障、事故等については一切の責任を負いかねますので十分にご留意願います。

●設置にあたっては各地方自治体の条例などに従ってください。 ●施工は3人以上で行ってください。 ●電源は100V 50/60Hzの**専用回路**をご用意ください。 ●定格125V 10A以上のアース付きコンセント(Panasonic WK3001の同等品)をご用意ください。 ●本製品をメーカーの意図する目的以外で使用しないでください。 ●ガスコンロや七輪、ロースター、国産IH調理器との併用はできません。誤作動や火災の原因となることがございます。 ●レンジフードの排気能力を最大限発揮するために、吸気口を設けたり窓やドアを開けるなど屋内外の気圧差を可能な限りなくす措置を講じてください。 ●施工にはかならず適切なツール・工具をご使用ください。 ●一般的なレンジフードと比べてデリケートな商品です。運送中や設置中の振動および衝撃による不具合の発生が排除できませんので、必ず設置前に機器単独で本設電源による試運転（通電・動作確認）を行ってください。本設電源による試運転を経ずに機器を設置され、その後に確認された不具合に関しては責任を負いかねます。 ●施工にあたっては十分に余裕をもったスケジューリングを徹底してください。 ●メンテナンスによってはファンモーターボックスを取り外す作業が伴います。簡便に取り外しできるようなキャビネット内設計と動線を確保ください（関連：本書8p）。 ●ファンモーターボックスの取付面に関係なく、フード正面（使用者側、IHクッキングヒーター設置側）からフード本体へアクセスできるようなキャビネット内設計としてください（関連：本書8p）。 ●製品の仕様は事前の通告なく変更することがございます。



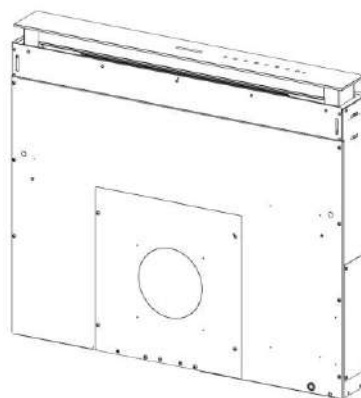
WARNING

- レンジフードは屋外排気専用です。屋内への排気はできません。
- 屋根裏部屋やその他の閉鎖空間へ排気しないでください。
- ダクト径は150mmとし、終端部まで同じ径で統一してください。
- フレキシブルタイプのダクトは推奨されません。圧力損失が生まれ、レンジフード本来の排気能力が失われます。
- ダクトの長さやエルボの数は効率的なパフォーマンスを提供するために最小限にしてください。最大のダクト長さは10mです。90°のエルボ1箇所が直線ダクト長さ1.5mに相当します。
- エルボを2つ連続させる形で取り付けないでください。
- ダクトテープを使用してダクトシステムのすべてのジョイントを目張りしてください。
- 本製品は欧州製IH調理器とのみ併用が可能です。国産や欧州外メーカー製IH調理器やガスコンロなど火災の発生する調理機器との併用は絶対にしないでください。誤作動や事故につながる危険がございます。
- このレンジフードにはアースが必要です。冷水パイプやガス管に接地（アース）しないでください。
- 接地回路にヒューズを取り付けしないでください。中性線または接地回路のヒューズは感電の原因となる可能性があります。
- レンジフードが適切に接地されているかどうか疑問がある場合は資格のある電気技師に確認してください。

部品

下記部品がそろっていることをご確認ください。

- ・フード本体(キャノピー含む) x 1
- ・ファンモーターボックス (別梱包) x 1
- ・逆止弁(ダンパ-) x 1
- ・コントロールボックス x 1
- ・サイドブラケット x 2
- ・3次元ブラケット x 2 (左右各1ケずつ)
- ・アジャスター x 2 (左右各1ケずつ)
- ・ステンレス天板フレーム x 1
- ・ビスA (3.5 x 9.5) x 12
- ・ビスB (M4 x 8) x 6
- ・ビスC (4 x 15) x 6



フード本体(キャノピー含む) **x 1**



ステンレス天板フレーム **x 1**

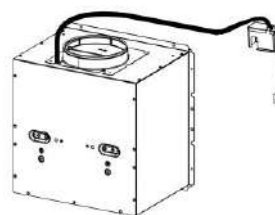


逆止弁(ダンパ-) **x 1**



コントロールボックス **x 1**

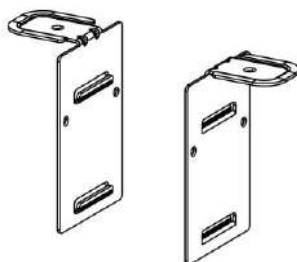
電源線長さ：約1.1m



ファンモーターボックス **x 1**



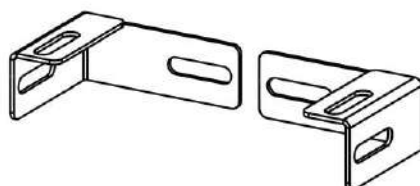
ビスA (3.5 x 9.5) **x 12**



サイドブラケット **x 2**



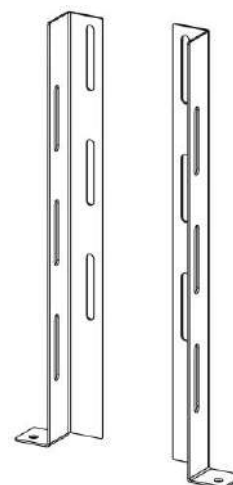
ビスB (M4 x 8) **x 6**



3次元ブラケット **x 2**

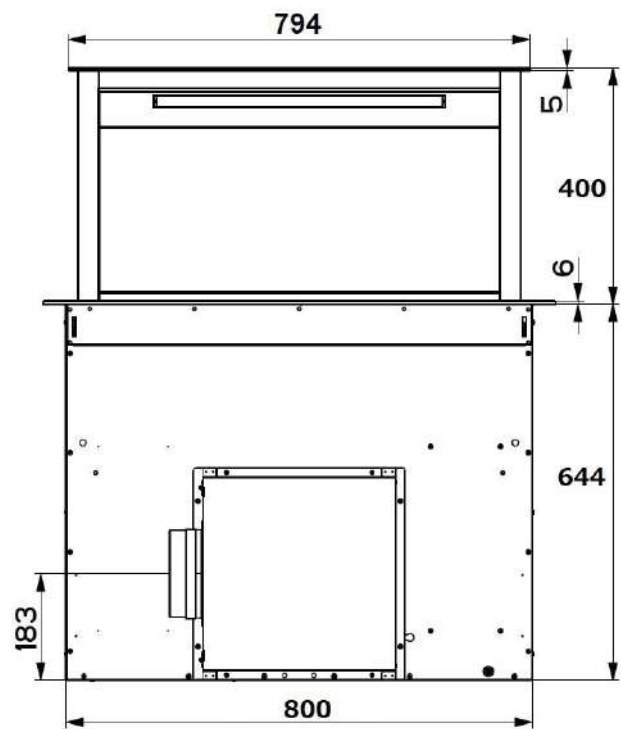
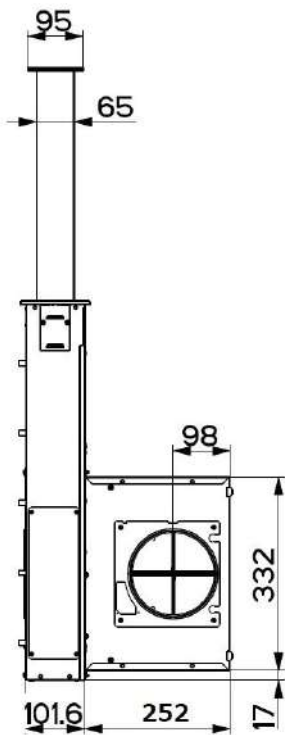
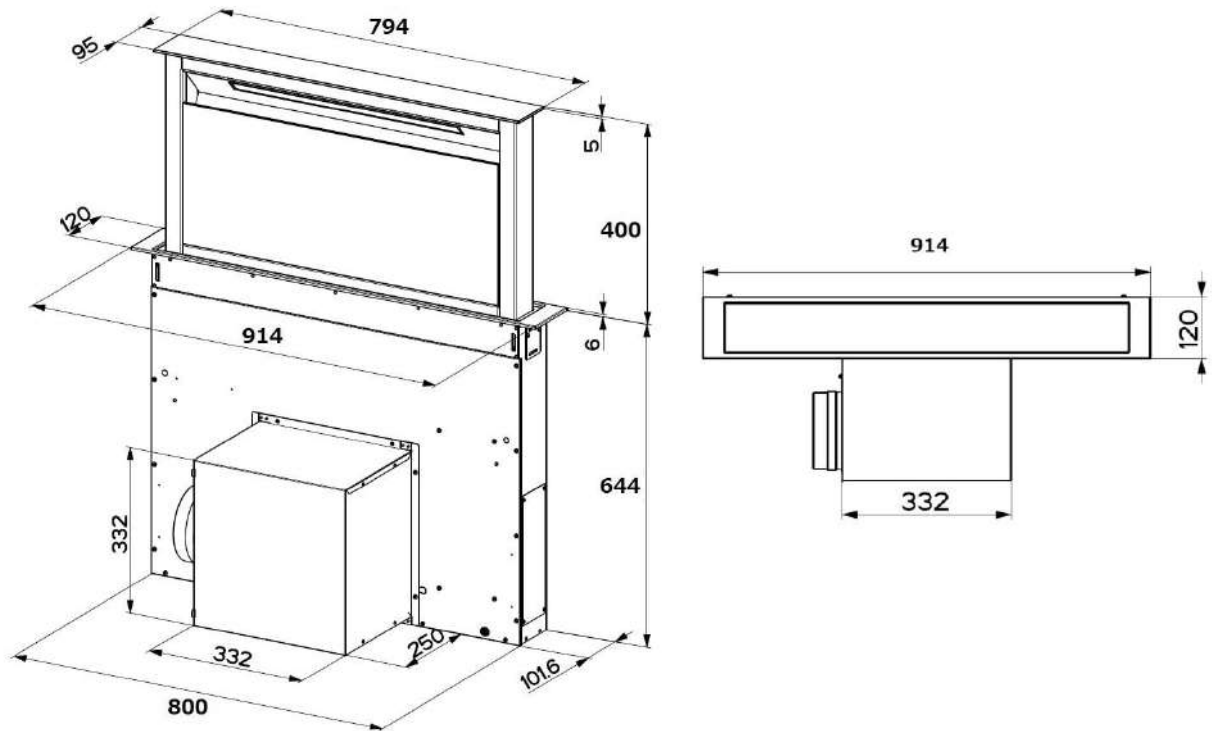


ビスC (4 x 15) **x 6**

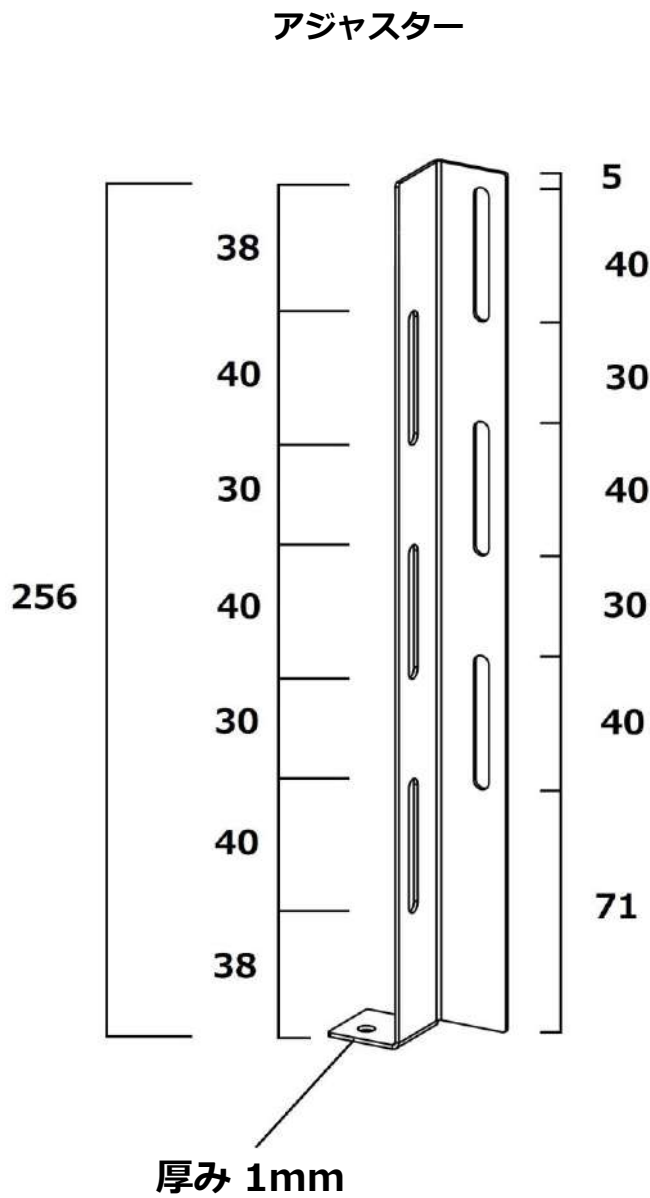


アジャスター **x 2**

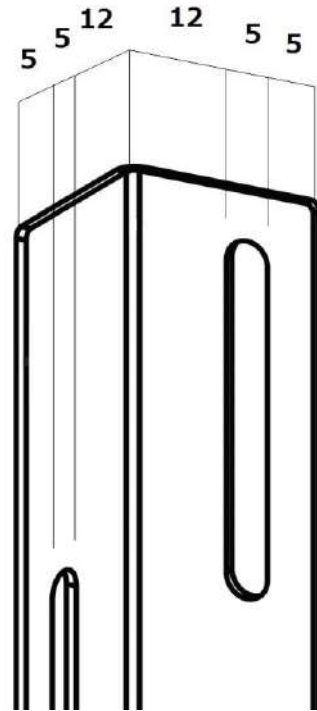
寸法図 (主要部分)



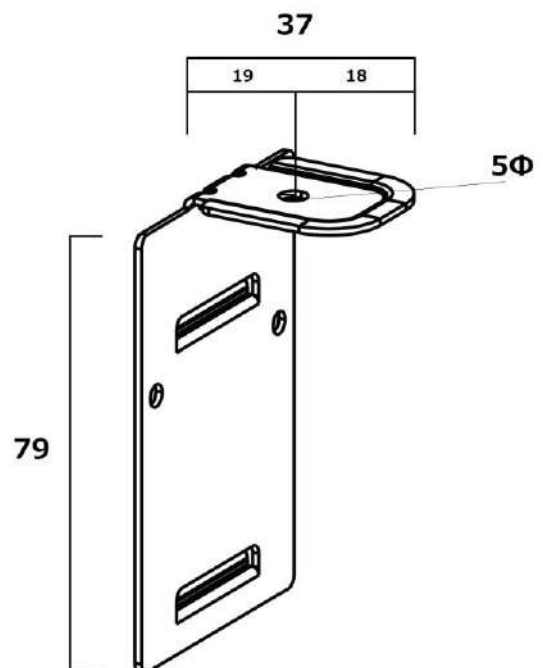
寸法図 (金具)



アジャスター (拡大)



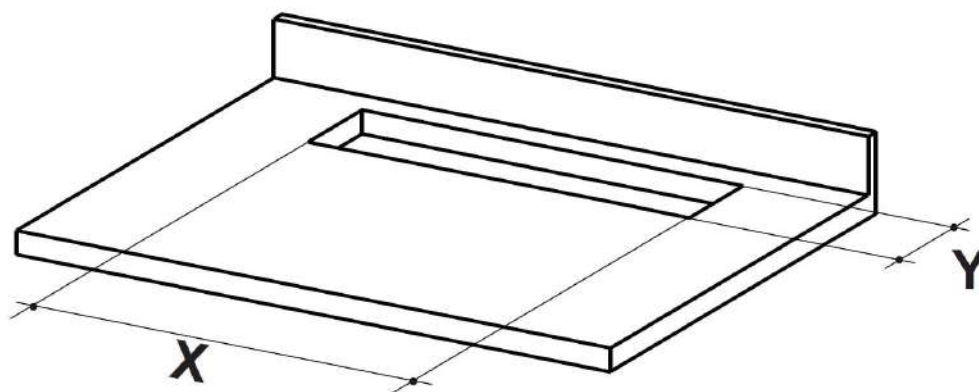
サイドブラケット



施工手順

①天板加工寸法及びキャビネット内寸の確認

まず初めにワークトップ（キッチン天板）が下記の通り正しい寸法で加工されているか正しいキャビネット内寸法が確保されているかをご確認ください。



X = 812mm Y = 109mm

キャビネット内寸法 \geq 700mm - ワークトップ°厚さ

注1：開口離隔距離 ワークトップの素材強度に応じてIHコンロの開口やワークトップ端部から少なくとも3cm ~ 5cmの離隔距離を設けてください。

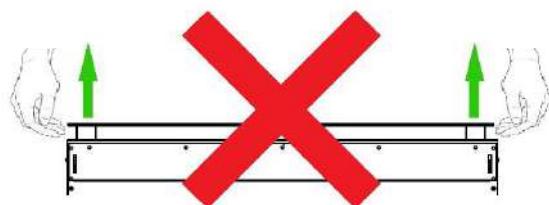
注2：面取り寸法 開口部に面取り加工する場合のRは最大8mmとしてください。

注3：キャビネット内寸法 キャビネット内の高さの下限は700mmから天板の厚さを引いた値以上としてください。（例えば天板の厚みが20mmであった場合は680mmがキャビネット内寸高さの下限となります。）

②本体の設置

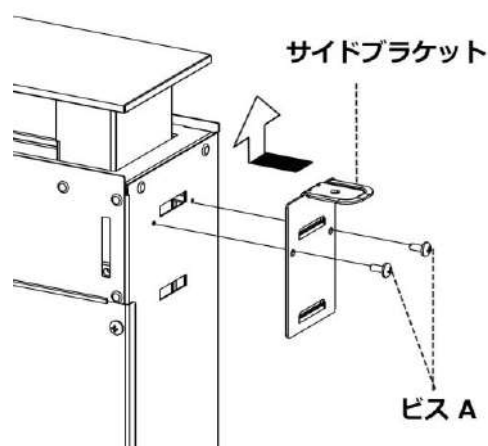


箱からフードを出す時など本体を持ち上げる際にキャノピーガラス天板の底部分に手をかけて持ち上げると天板がゆがみます。持ち上げる際はフード本体の側面を二人以上で持ち上げるようにしてください。



フード本体をワークトップの上部、もしくは下部よりワークトップ開口に差し込んでください。この時、フード下部に小型ジャッキをかませてフード本体がワークトップ天端から5cmほど露出するように仮置きしてください。

仮置き後、サイドブラケットを右図のように本体に取り付け、ビスAで固定してください。



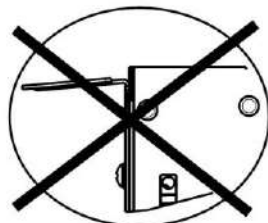
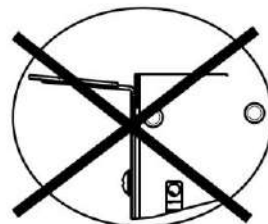
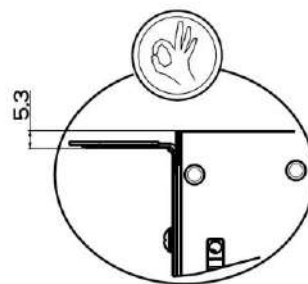
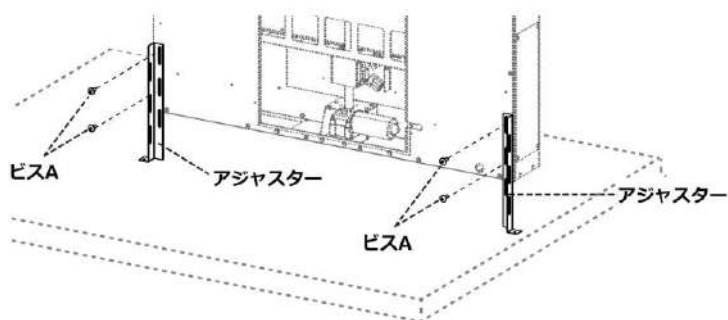
施工手順 ②本体の設置

サイドブラケットを固定後、サイドブラケットとワークトップ天端がぴったりと触れ合うようにフード本体の高さ調整を行ってください。この時、サイドブラケットに過負荷がかからないように注意してください。

右図の下2つのような状態は機器の故障や重大な事故につながる恐れがございますので十分にご注意ください。

次に地板とぴったりと触れ合うようにアジャスターの高さを決めてからビスAを用い、下図のようにしっかりと本体と固定してください。

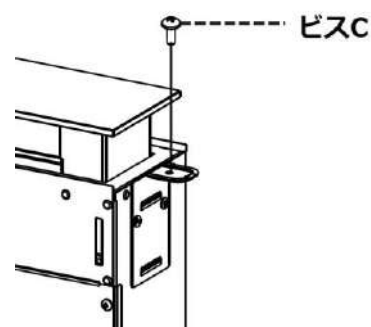
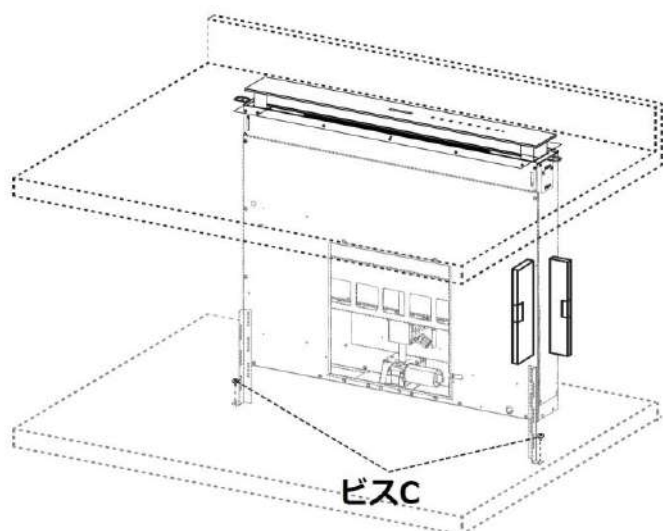
※地板とアジャスターの固定はこの後の本体のたてり調整後に行うため、この時点での固定はしないでください。



図のように水平器を用い、本体のたてりの調整と本体の位置決めを慎重に行ってください。

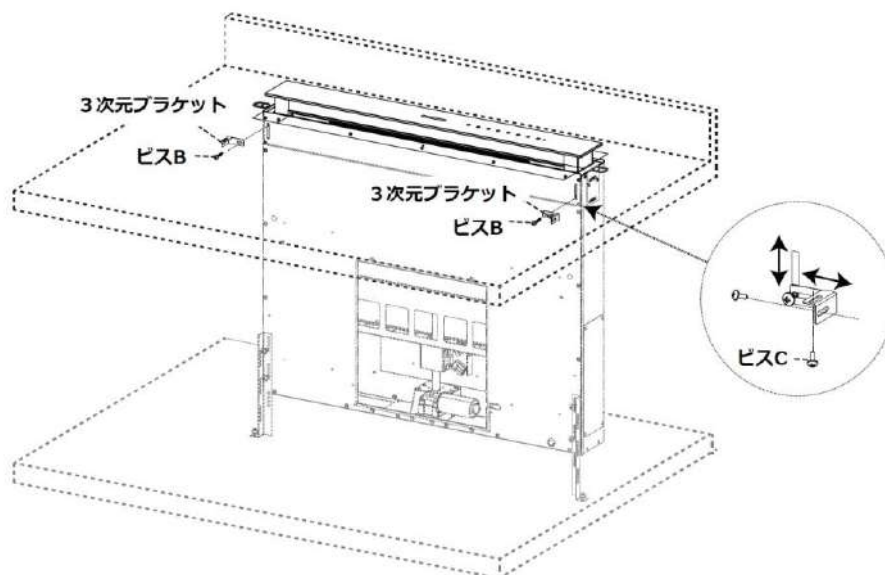
本体の位置決め完了後、ビスCを用い、地板とアジャスターの固定とサイドブラケットとワークトップ天端の固定を行ってください。

※ワークトップ材質によりビス止めできない場合は任意の接着剤やシリコン等を用い、完全に乾ききるまでこれ以降の作業をすべて中断してください。



施工手順 ②本体の設置

3次元ブラケットをブラケットの高さと横位置の調整を行いつつ、ビスBを用いて本体と、ビスCを用いてワークトップ下端（裏打ち材）、もしくは側面パネルへの固定を行ってください。



③ファンモーターボックスの取り付け

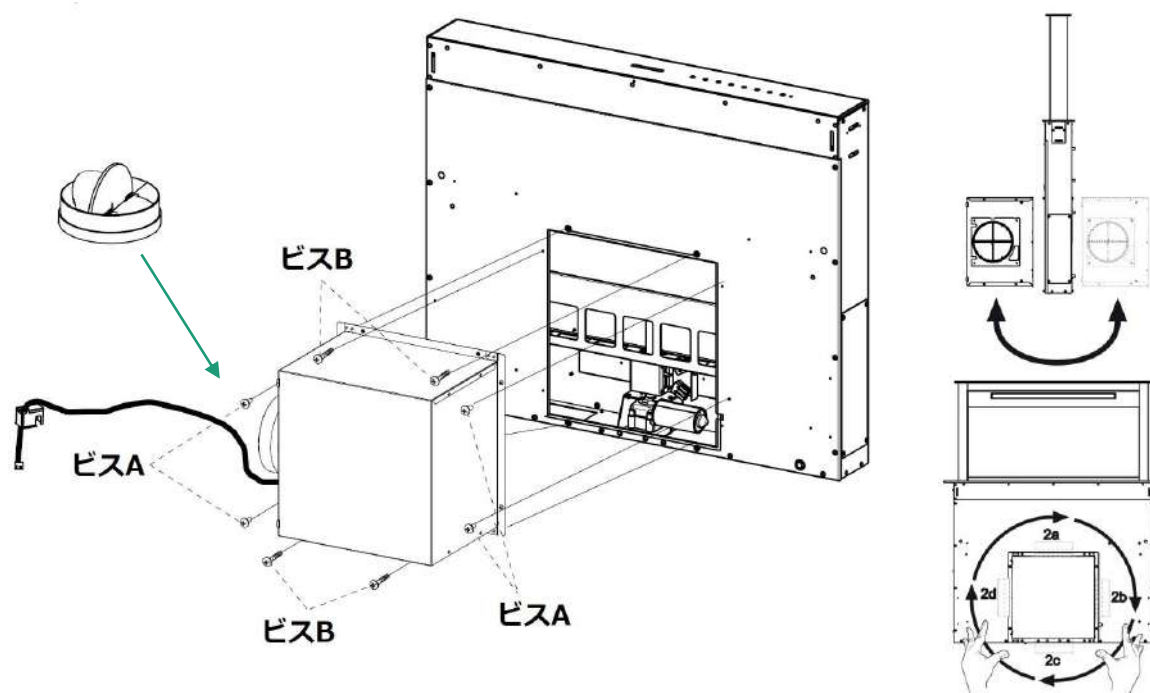
ビスAとビスBを用い、ファンモーターボックスを本体に固定してください。

※ビスAはモーターボックス垂直方向の辺、ビスBは水平方向の辺に使用します。

ファンモーターの吐出口は上下左右へ任意に設定できます。また、本体背面へも設置可能です。

※万が一の機器故障などに備え、ファンモーターボックスの取り外し可能なキャビネット内の設計をお願いいたします。

ファンモーターボックスの取付後に外気の吹込みを抑制する逆止弁(ダンパ)をファンの吐出し口に必ず取り付けてください。



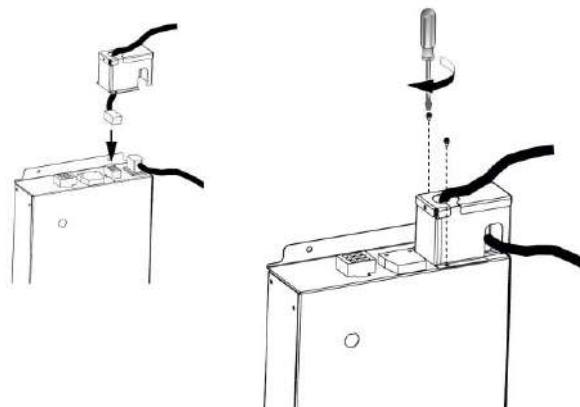
施工手順

④コントロールボックス取り付けと各部結線

電源ケーブルがコントロールボックスとしっかりつながっているか確認してください。

コネクタの向きに注意しながらファンモーターボックスから伸びている風量制御線をコントロールボックスのコネクタに接続してください。

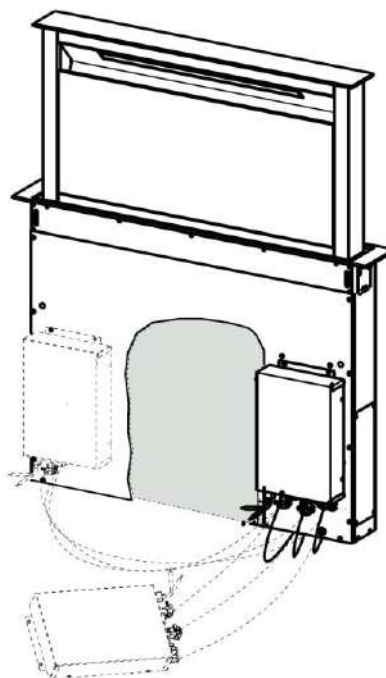
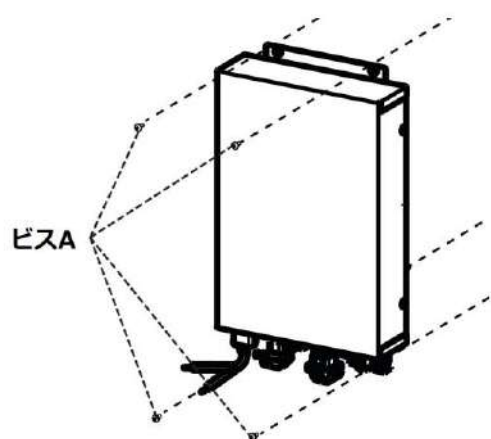
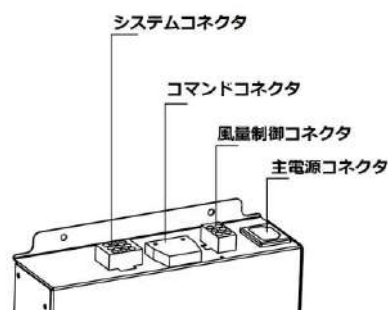
付属のビスでコネクタカバーを図のように固定してください。



本体下部から伸びているシステム線、コマンド線を右図を参考に各コネクタへ正しく接続してください。

接続後、ビスAを用い、コントロールボックスを本体へ右もしくは左へ固定して下さい。

注意：決してコントロールボックスを地面と接地する形で使用しないでください。



主電源へ接続し、取扱説明書（別資料）も見ながらテスト運転を行ってください。

※主電源は100V 50Hz/60Hzアース付きコンセントをご用意ください。

（Panasonic社製 WK3001同等品をご用意ください。）

施工手順

⑤ステンレス天板フレーム取付け

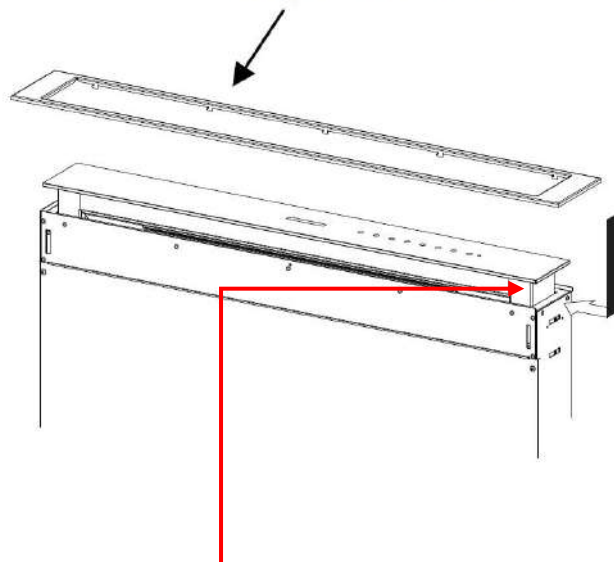
※キャノピーが本体から2～3 cm露出した状態で作業してください。

※フレームの端部でけがをしないように手袋などを着用し作業してください。

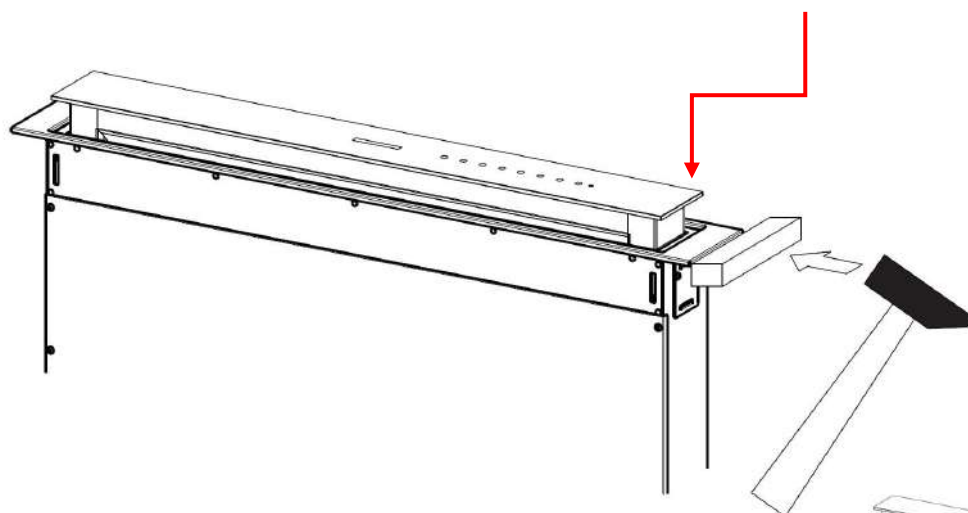
ステンレス天板フレームのツメを本体の穴位置に併せ差し込んでください。この時フレームの爪が本体向かって左側に伸びていることを確認してください。

全てのツメ位置があっていることを確認しながら本体向かって右側からハンマーなどを用い、フレームのゆがみに注意して叩き込んでください。

取り扱い注意！

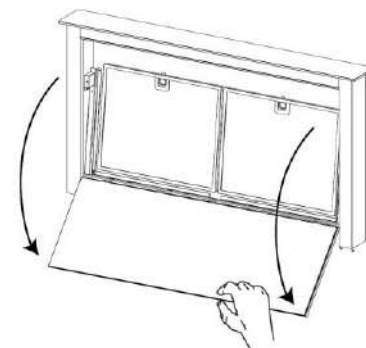


※キャノピーが少し（3 cm程度）浮き上がった状態でないとフレームのはめ込みができません。



キャノピーを上昇させてガラス整流版を外し、グリ
スフィルタの養生テープを剥がして元通りに設置、
キャノピーを格納してください。

※整流版取り外しの際には落として割れないよう
に十分にご注意ください。



以上で施工は完了です。お疲れ様でした。
ご不明点あれば下記までご連絡ください。

ウエスタン大阪株式会社

06-6210-4611

<http://www.western-Osaka.com>



SCIROCCO LUX INSTALLATION INSTRUCTIONS Ver. 3.02

www.western-osaka.com